

# 被災者への支援

## 心の健康づくり事業

市では、東日本大震災で被災された市民を対象に、心の健康づくりをテーマにグリーンフケア事業とメンタルヘルス事業を実施しています。

### ■グリーンフケア事業

#### ▼グリーンフケア・セミナー

震災でご家族など大切な人を亡くされた人は多くいます。このような体験は、残された人の心に深く大きな悲しみなどの悲嘆(グリーフ)をもたらす、その悲しみがストレスとなり、さまざまな不調をもたらすことがあります。この悲しみをケアする目的で被災者および支援者がグリーンフについて正しい知識を持つために、講演会などを開催しています。

#### ▼グリーンフケア・サロン

震災などにより大切な人を亡くされたなど、同様の経験を持つ人が集い、遺族の思いを語り合うことにより心を癒やす場として臨床心理士などの協力を得ながらサロン(交流会)を開催しています。

### ■メンタルヘルス事業

#### ▼アルコール問題対策

環境・生活の変化により、不眠やアルコール関連問題を合めた、心の健康問題などをもたすことがあります。震災後に飲酒量が増加する傾向にあることから、個別相談や支援機関の職員向けに研修会を開催しています。

#### ▼こころのフォーラム

被災者などのメンタルヘルスの維持向上を図るため、うつ病や統合失調症、心のケアなど、毎年度、テーマを設けフォーラム(講演会など)を開催しています。

#### ▽問い合わせ先

地域福祉課(☎内線183)

## 健康維持・増進事業

応急仮設住宅などから災害公営住宅への転居後に、生活環境やコミュニティの変化、精神的ストレスなどにより、健康の悪化が懸念されています。また、応急仮設住宅での生活が長期化し、運動不足による体力低下や生活習慣病の発病・悪化が心配されています。このことから市では、次の事業の実施により被災者などの健康維持・増進を図っています。

### ■健康見守り支援事業

看護師などの専門職を臨時に雇用し、関係機関を通じて情報共有を図りながら、災害公営住宅や応急仮設住宅などを巡回し、入居者の健康見守りや健康相談を行っています。



→災害公営住宅を巡回

### ■健康づくりサポート事業

災害公営住宅の集会施設において、入居者を対象に健康運動教室や食生活改善交流会を実施し、日常生活での身体活動の増加などにつながる助言や食生活改善の助言を行っています。

#### ▽問い合わせ先

健康推進課(☎⑦1581)



→食生活改善交流会を実施

## 心の復興支援事業

避難生活の長期化や災害公営住宅等への移転などによる生活環境やコミュニティの変化に伴い、被災者の心身のケアや孤立防止が重要となっています。

このことから、被災者が他者とのつながりや生きがいをもって前向きに生活することを支援するとともに、コミュニティ形成と一体となった被災者の心身のケアなどの促進を図るため、心の復興事業を行う団体に対して補助金を交付しています。

災害公営住宅の集会所や公民館などにおいて、「地域づくり講演会&交流会」を開催し、住民同士が集まる機会を設け、交流をすることで被災者の閉じこもり防止を図るとともに、住民同士が支え合い、助け合うことによるコミュニティ形成支援を行っています(実施団体(有)ウィルビー)。

#### ▽問い合わせ先

企画調整課(☎内線214)



→公民館での講演会&交流会

